



デジタルマイクロスコープの活用

鎌形優介

Kamagata Yusuke
神奈川県歯科技工士会所属
ADS JAPAN (株)



1. はじめに

筆者は後輩の補綴物のチェックにマイクロスコープを使うことが多い。自分はマイクロスコープを覗きながら見えていることを言うが、相手は当然見えていないので伝わらないことがあった。見て欲しい所を伝えて自分の席に戻ってマイクロスコープを覗いて見てもらっても同じ所を同じ様に見えているとは限らない上に時間を要する。これは歯科技工士の多くが1度は経験したことのある問題ではないだろうか。

2. 材料と方法

今ではインターネット販売で数千円からデジタルマイクロスコープを購入する事が出来る。Wi-Fiを通じてデジタルマイクロスコープの映像をスマートフォンやモニターに映し出す事ができる。つまりデジタルマイクロスコープを普段使用しているマイクロスコープに取り付ける事でマイクロスコープ下に似た映像をモニターで共有する事が出来るようになるわけである (fig.1 ~ 3)。

3. 結果

これによりチェックする側と受ける側が同じ映像を共有することが可能になり、伝えたい事が伝えやすくなるため、わざわざ席に戻って確認する手間も無くなり、その場で質問もできるのでコミュニケーションがスムーズに取れる様になった。

fig.1



fig.1 デジタルマイクロスコープは小型なので簡単に取り付ける事ができる

fig.2



fig.2 デジタルマイクロスコープの映像

fig.3



fig.3 fig.2 撮影時のマイクロスコープの映像。見えている被写体の角度に差が出る